

タイトル 「令和7年度（第63回）神奈川県立高等学校PTA連合会 県西地区大会」

発表者 吉田島高等学校PTA会長 小林康寛ほか

学校名 吉田島高等学校PTA

研究テーマ「吉田島高等学校PTA 実りある楽しい活動をめざして」

1 はじめに

吉田島高等学校は今年で創立118年を迎える歴史ある学校です。全日制の単位制で農業科は都市農業科、食品加工科、環境緑地科の3科と家庭科は生活科学科の1科を合わせた専門高校です。吉田島高等学校の特色の1つ目はすべての学科で科目、農業と環境を履修し、命や食について学び、生産から食料のありがたみや大切さを学んでいます。2つ目は1年次生において1泊2日の演習林宿泊研修を実施しており、携帯電話のつながらない環境下で登山による人工林の観察、水源地の見学を通して、水のありがたさを実感したり、集団行動の基礎作りを体験したりしています。3つ目は演習林管理作業を実施し、樹木を間伐することで森林の果たす役割に触れることで環境教育に力を入れています。

2. 吉田島高等学校PTAについて

PTA本部を中心に学年、広報、成人委員会で組織されています。また、5月の実行委員会において年間のスローガンを実行員会で決め、活動しています。また、会議は本部役員会（本部のみ）、実行委員会（本部＋各委員長、副委員長）、常置委員会（全員）、さらに指名委員会、予算会計委員会が時期によって開かれています。PTA本部の活動は主に体育祭での飲料配布、矢倉沢演習林にある黒ヶ畑寮でのPTA研修の企画、文化祭模擬店参加などです。学年委員会ではあいさつ運動やワンコイン教室（プリザーブドフラワー）の開催、地域清掃活動に参加をしています。成人委員会はバス研修の企画や正月飾り教室の開催（今年度は味噌づくり教室）を企画、運営しています。広報委員会は年2回の広報誌の作成と行事の取材、広報誌編集作業を行っています。各委員会の協力のもと、子どもたちの成長を支え、会員同士の交流など充実した活動となっています。内容につきましてはスライドをご覧ください。

3 現状について

活動につきましては会員の参加してよかったという声を踏まえ、概ね満足していただいているものとして認識しています。とくに黒ヶ畑研修会では学校産のお米や野菜を使ったカレーづくりや野菜焼きを通して会員同士の交流が図れました。今年度の体育祭は小田原アリーナで開催しました。飲料配布をスポーツドリンクのみにした結果、普段飲み慣れていない子どもたちも多く、改善する必要があると感じました。さらに黒ヶ畑研修会では例年より子どもたちの宿泊が早く実施されたため、清掃活動を行えないままの開催となってしまいました。また、バスの手配も難しく、2か月前ではすでに予約が入っていたため、年間行事の中に入れ、仮予約が必要だったと感じました。

4 今後の課題について

各種会議の内容の重なりがあり、開催時間について見直す方向で検討を進めています。役員決めについては実行委員会でアンケートの文言等を見直した結果、入学予定者説明会でお声かけさせていただきだけで役員の充足を果たすことができました。また、アンケートにPTAの年間計画を盛り込むなど活動を見える化する工夫も必要です。会員の行事参加については協力を得られたと感じています。また、役員は難しいものの、ボランティアなら参加できるとの声を参加者にいただいたので、アンケートを実施するなど工夫して学校に来ていただく仕組みを作りたいと考えています。

5. 結びに

PとTが手を取り合って学校をより身近に感じながら、子どもたちの成長をそばで見守り、その喜びを共に分かち合える活動を今後も展開していきたいです。